

市議会だより

学びを豊かに

令和3年第2回定例会 (6月2日～25日)

新たな議会構成が決定
新型コロナ関連に対応した補正予算可決
委員会・議員から3件の決議案、提出

★Contents★

- 2 新たな議会構成決まる
- 4 議案をチェック！
- 7 議案の審議結果
- 8 一般質問
- 16 GIGAスクール構想タブレット
“未来の文房具”
いよいよ子どもたちの手に

新たな議会 構成決まる

議長選挙

2名の議員が議長選挙に対して所信表明を行ったあと、選挙により議長を決定しました。

投票結果
 広瀬武雄 10票
 関谷守彦 1票
 無効票 7票



議長
 広瀬 武雄

今議会において第12代議長に就任させていただき、誠に光栄でありますとともに、その責任の重さを痛感しているところでございます。市民の皆様の負託に応えるべく民主的で公正かつ円滑な議会運営を通じ、議会の機能強化、透明性、情報公開などについて、市民目線でそれら改革に尽力してまいります。

また、新型コロナウイルス対策とアフターコロナ社会を見据え、市民生活に安心・安全を取り戻し、市民が幸せを感じられる瑞穂市の将来ビジョンを描くべく議員全員が一層活発な議論ができるよう奮励努力していくことをお誓いし、議長就任の挨拶とさせていただきます。

副議長選挙

1名の議員が副議長選挙に対して所信表明を行ったあと、選挙により副議長を決定しました。

投票結果
 今木啓一郎 10票
 無効票 8票



副議長
 今木 啓一郎

この度、第13代副議長に就任させていただき、その責任の重さを痛感しております。議長をお支えし公平かつ円滑な議会運営に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、雇用や所得だけでなく働き方や教育現場にも及び、生活様式に大きな変化を与えるなど多岐にわたっておりますが、当市が引き続き選ばれる街・住み続けたい街になるよう力を注いでまいります。

また、皆様からより身近で信頼される議会となりますよう精励する所存でございます。ご支援ご協力のほどよろしくお願い致します。

議会運営委員会



委員長 杉原克巳
 副委員長 広瀬守克
 委員 藤橋礼治 ◎松野貴志 ○森 清一

【所管事項】
 議会の会期日程や議案・請願などの取り扱い、議長の諮問事項などについて協議



総務委員会



委員長 庄田昭人
 委員 北川静男 藤橋直樹
 副委員長 広瀬武雄 ◎若園五朗 ○棚橋敏明

【所管事項】
 企画部、総務部、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員会、固定資産評価審査委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項についての審査

【継続調査】
 ①新庁舎建設について
 ②防災について

産業建設委員会



委員長 若原達夫
 委員 関谷守彦 今木啓一郎
 副委員長 杉原克巳 ◎松野藤四郎 ○森 健治

【所管事項】
 都市整備部、環境水道部、農業委員会の所管に属する事項についての審査

【継続調査】
 ①駅前開発について
 ②公共下水道（雨水対策）について
 ③産業振興について

文教厚生委員会



委員長 森 清一
 委員 広瀬守克 若井千尋
 副委員長 藤橋礼治 ◎馬淵ひろし ○松野貴志

【所管事項】
 市民部、健康福祉部、県南庁舎管理、教育委員会の所管に属する事項についての審査

【継続調査】
 ①人口増加地域における子育て支援策について
 ②発達障がい児の現状と支援体制について
 ③コミュニティ・スクールについて

6月定例会

議案をチェック!

上程された
議案

人事案件
2件

条例の改正
3件

補正予算
5件

事件議決
1件

委員会
議員 提出
5件

審議結果はP7へ



コロナ関連 中学生までの子ども達に図書券配布

図書券支給事業

コロナによる外出自粛の子どもたちの支援と、「読書のまち みずほ」を推進するため、中学生以下の全ての子どもたちを対象に、1人2000円の図書券が配付されます。

【議案第37号 一般会計補正予算】



Q この事業を行うことで、子どもたちへどのような効果が期待できるか。

A 市内小中学校に通う児童生徒には、図書券で購入した本を学級の仲間に紹介するという課題を出したいと考えている。自分の言葉で相手に説明をする力は、これからの社会に必要であると捉えており、子どもたちにそのような力がつくことを願って実施していきたい。

コロナ関連 地域活性化と居住環境の向上を支援

住宅リフォーム費用助成事業

市内業者による住宅リフォーム工事に対して、経費の一部が助成されます。事業費として1200万円が計上されました。

補助率 一般リフォーム 1/10
コロナ関連リフォーム 1/5
助成費 上限10万円

【議案第37号 一般会計補正予算】

※詳しくは、市のホームページ等でご確認ください。

Q 住宅リフォーム制度は、一過性のもので終わらせるのではなく、今後も継続したものにしていく観点が重要ではないかと思うが。

A 本事業は、財源に国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用するもので、今回は、コロナ対策関連の事業と位置付けている。今のところ、期限を設けた補助と考えている。

コロナ関連 ウエディング写真で思い出づくり

ウエディングフォト 撮影支援事業

コロナの影響により、挙式等を断念せざるを得ない夫婦等を対象に、ウエディング写真撮影に係る費用が支援されます。

事業費として、500万円が計上されました。

補助額 上限5万円
1組1回限り
【議案第37号
一般会計補正予算】



Q ウエディングに限らず、外出ができなかった高齢夫婦の思い出づくりや、成人式、家族イベント等は対象にならないか。

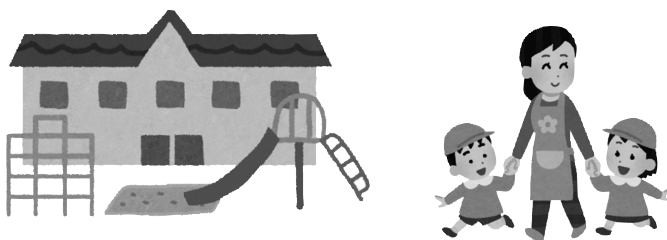
A アフターコロナ時代に、それぞれの思い出づくりをしていただきたと考え、人生の中でも輝かしいウエディングの思い出づくりとして捉え事業を起こしたため、他のイベントは対象としていない。

子育て 牛牧第1保育所を公私連携型で新設予定

予定地の測量調査設計の 委託料などが予算計上

老朽化した牛牧第1保育所を3歳未満児保育が可能な公私連携型保育施設へ整備する計画があり、予定地の測量調査設計委託料及び土地鑑定委託料の予算が計上されました。

【議案第37号 一般会計補正予算】



Q 今後のスケジュールは。

A この補正予算が可決されると、予定地の測量等を行い、その後、土地の購入ということになる。来年には造成し、※プロポーザルにより業者を決め、調整などをしていきたい。現在の予定は、令和6年度末には完成し、令和7年4月から公私連携型保育施設として開設できればと考えている。

※事業者提案型の入札方法の1つ

環境整備 牛牧小学校の教職員駐車場整備に向けて

駐車場予定地の測量調査設計の 委託料などが予算計上

現在、牛牧小学校職員の駐車場として使用している借地の契約を解約し、その代替地として新たな土地の購入を予定されています。新たな土地の測量調査設計委託料及び土地鑑定委託料の予算が計上されました。

【議案第37号 一般会計補正予算】

Q 現在、駐車場として使用している借地を購入する考えは。

A 牛牧小学校の駐車場については、5年ほど前から、もう少し近いところでなんとかならないかという相談は受けてきた。昨年度、借地を手放したいという話が地権者の関係者からあったが、学校の教職員や社会教育施設の利用者の利便性、防災面など総合的に考えると、小学校西側の土地がいいということで選定した。なお、学校東側の市有地の学習畑については教育委員会から市へ戻してもらえればと考えている。



議案第37号令和3年度瑞穂市一般会計補正予算(第3号)に関する付帯決議

委員会提出 明確な比較資料で議会に報告を

《要旨》

一般会計補正予算(第3号)において、牛牧第1保育所を公私連携型保育所として整備する予定地及び牛牧小学校の駐車場として整備する予定地の測量調査設計委託料と土地鑑定委託料が計上されている。

今回の牛牧小学校職員駐車場整備に関し、委員の質問に対する執行部の答弁は明確なものではなく、事業内容についても不透明な状況で精査されているとは考えられない。

よって、現在使用している借地駐車場と新たに購入を計画している小学校西の土地の2カ所について十分比較検討し議会に報告することを強く要望する。



生津小学校区に保育所整備の早期実現を求める決議

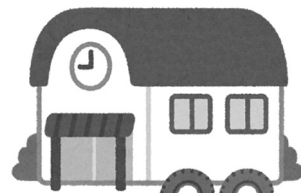
議員提出 生津小学校区に、保育所を

《要旨》

平成29年3月に策定された瑞穂市保育所整備計画では、保育所・幼稚園整備方針の目指す姿に「全小学校区に保育所を設置する」と決定され、保育所が小学校区内に存在しない生津小学校区においては、「生津小学校への保育所・幼稚園からスムーズな繋がりがとれるよう、生津小学校区内に保育所の民間誘致を進めます」としているが、整備用地や民間事業者誘致など解決しなくてはならない課題が長年解決できず、整備が遅れている。

瑞穂市における保育施設の均衡のとれた配置、並びに同じ小学校区内での通園で円滑な小学校への繋ぎを実現することは喫緊の課題である。

よって、二元代表制の一翼を担う瑞穂市議会は、生津小学校区に保育所整備の早期実現を求めるものである。



二元代表制の尊重を求める決議

議員提出 十分な資料提示と丁寧な説明を行う努力を

《要旨》

瑞穂市議会基本条例は、「市議会を構成する議員は、市長と同じく、市民から直接選挙で選ばれた市民の代表である。この市議会と市長は、市民の意思を代弁する二元代表制の機関であり、それぞれの特性を活かして、互いに競い合い、協力しながら、市政を担う両輪として市民の負託に応える責務がある。」との書き出しから始まっている。

しかし、今回の議案第37号瑞穂市一般会計補正予算（第3号）においても、瑞穂市議会基本条例に基づいて再三要求した資料の提出はなかった。

したがって、市長及び市執行部に、次の事項を強く要望する。

- ①市長と議会は互いに独立し、その権限を侵さず、侵されず、対等の立場と地位にあるということを十分理解し、二元代表制を尊重すること。
- ②議案等の提出において、瑞穂市議会基本条例に掲げられている内容を理解し、議員に対し十分な説明資料を提示して丁寧な説明を行うよう最大限努力すること。



反対討論

- ・今回予算計上された牛牧小学校駐車場予定地については、執行部からの詳細説明は適切であったと思う。口頭ではあったが、経緯の説明等細かく説明があった。総務委員会で予算は全会一致で可決されている。
- ・後日資料の提出をされると言われたのでそれで良いのではないか。二元代表制は尊重され、良い関係で進んでいると感じている。

賛成討論

- ・総務委員会での審査において、経緯や背景、費用の比較等の資料を求めたところ、口頭説明を受けたとあるが、総務委員会委員長報告の中には、「比較した資料が出されていないので…」という言葉があったのが事実である。
- ・議員にしっかり資料を開示し、二元代表制を尊重していただきたい。

令和3年第2回定例会 議案の審議結果

議 案 名 等			議員名（会派別） （◎は会派代表者）	議 決 結 果	新生クラブ					無所属の会					立	公	朱	み	共	議 決 月 日	
					◎ 若園 五朗	◎ 藤橋 礼治	◎ 庄田 昭人	◎ 今木啓 一郎	◎ 松野 貴志	◎ 馬淵 ひろし	◎ 森 清一	◎ 森 健治	◎ 北川 静男	◎ 若原 達夫	◎ 藤橋 直樹	◎ 広瀬 守克	◎ 松野 藤四郎	◎ 若井 千尋	◎ 棚橋 敏明		◎ 杉原 克巳
議員・委員会 提出議案	議 案 第 4 号	核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書	否	－	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	6/25
	議 案 第 5 号	学校教育におけるデジタルトランスフォーメーションを適切に進めるための意見書	可	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/25
	議 案 第 6 号	生津小学校区に保育所整備の早期実現を求める決議	可	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/25
	議 案 第 7 号	二元代表制の尊重を求める決議	可	－	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	6/25
市長提出議案	議 案 第31号	瑞穂市教育委員会の委員の任命について	可	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/2
	議 案 第32号	瑞穂市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	可	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/2
	議 案 第33号	瑞穂市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例について	可	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/25
	議 案 第34号	瑞穂市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/25
	議 案 第35号	瑞穂市基金条例の一部を改正する条例について	可	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/25
	議 案 第36号	令和３年度瑞穂市一般会計補正予算（第２号）	可	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/2
	議 案 第37号	令和３年度瑞穂市一般会計補正予算（第３号）	可	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/25
	委員会 提出	議案第37号令和３年度瑞穂市一般会計補正予算（第３号）に関する付帯決議について	可	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/25
	議 案 第38号	令和３年度瑞穂市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	可	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/25
	議 案 第39号	令和３年度瑞穂市下水道事業会計補正予算（第２号）	可	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/25
	議 案 第40号	財産（消防ポンプ自動車）の取得について	可	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/25
	議 案 第41号	令和３年度瑞穂市一般会計補正予算（第４号）	可	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/25

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、棄…棄権、除…除斥、立…立憲民主党、公…公明党、朱…朱鷺の会、み…みずほ令和の会、共…日本共産党
議長は決に加わりませんので、「-」で表示してあります。（議長 広瀬武雄）

総務委員会

所管事務調査

「指定金融機関について」 結果報告

議会初日に、総務委員会で継続調査となっていました市の公金の収納及び支払い事務を取り扱わせる「指定金融機関について」、計3回にわたり、慎重な調査・協議を重ねてきた調査の経過及び結果の報告がありました。

これまでは、合併協議会で協議された「3年ごとに見直す」という調整方針があるため3年ごとに議案が提出されていましたが、『次期、指定金融機関の指定については、3年という指定期間を定めず、事前の実態調査により当市の指定金融機関に関する資質の基準を定めた募集要項を作成し、各金融機関に調査表を提出してもらい、調査表の内容を審査して金融機関を指定する』と調査結果をまとめ、今後の議案提出について執行部に要望しました。



(仮称)中山道大月多目的広場と近郊の農業・産業振興の政策の考えは



都市整備部長

市の地域農産物や産業の具体的な情報を皆様に提供していきたい



若原達夫議員

Q (仮称)中山道大月多目的広場近郊の産業振興の政策は。

A 観光スポットを盛り込んだ市を周回するサイクリングコースの整備を検討している。なお、市を横断する中山道サイクリングコースと合わせ、2つのコースを楽しんでもらえるよう考えたい。

Q 広場の名称決定のプロセスと「命名権」についての考えは。

A 「瑞穂市中山道大月多目的広場」を正式名称にと現時点では考えている。プロセスは、管理条例を整備し、12月議会には上程できるよう進めていきたい。また、誰にも親しまれるような愛称の募集も進めていきたい。ネーミングライツの導入は、市にも企業にもメリットがあると思われる、今後、十分検討していく。

(教育委員会事務局長)

Q 広場周辺施設とのかわり、また、ウォーキングコースの予定は。

A 広場からアクアパー

クすなみ、大月浄水公園、図書館分館などへの通路を確保し、行き来できるようにする。また、コロナを機にウォーキングなどの運動を始めた方が継続できるよう、ハード面の整備を図っていきたい。

(教育委員会事務局長)



▲(仮称)中山道大月多目的広場イメージ図

任期の折り返し時点の思い
Q 市長の任期の折り返し時点の思いは。

A 7本の政策の柱、41事業のマニフェストのうち、現在約70%が実施済みである。しかし、現在はコロナ対策、コロナ禍の市民の生活、経済対策を一番に考えていくことが必要なのではないかと考えている。(市長)



危険な道路・交差点等の構造上の課題とその改善についての考えは



企画部長

県や市の担当部、公安委員会と今後も継続して研究や協議を進めていく



森 清一議員

Q 通学路では、見守り協力員が児童の安全確保のため見守り活動をされている。協力員は何名で、市のどの部署が所管・把握しているのか。また、安全誘導方法の指導はどのようにしているのか。

A 市内の学校が把握している人数を合計すると85名である。サポーターの方々は、ボランティアで活動していただいている、所管する部署がないのが現状である。安全誘導の指導については、学校等において実施された記録は残っていない。警察等の関係組織との連携



▶協力員による通学児童の見守り

を図り、交通安全指導の知識や技能等学ぶことができるよう、今後検討していきたい。(教育長)

ごみ集積場(新設・移設)補助金
Q ごみ集積場の新設・移設の補助金の増額見直しは。

A 各自治会でいろいろなタイプの集積場がある中で、高価なタイプの補助金を引き上げる等は、公平性の観点から差をつけることはできないと考えており、上限10万円を継続して補助していきたい。(環境水道部長)

コミュニティ・スクールの現状
Q 学校支援ボランティアの組織化はどのように進めていくのか。

A 組織化を進めるために、学校運営協議会において十分な協議をお願いしたい。学校の運営方針に基づいて進める中で、実際に学校が抱える課題を出していただき、支援していただくボランティアの方々を募集したいと考えている。(教育長)



安全・安心に住めるまちについて



企画部長

交通安全教室等のソフト面の充実に力を入れ、交通事故の減少につなげていきたい



庄田昭人議員

Q 地域活動の促進
Q コロナ禍における子どもたちの心のケアは、学校では、感染拡大



（都市整備部長）

Q 歩道のバリアフリー化が必要ではないか。
A 車道と歩道の接続部分の段差等物理的な障壁の解消など、歩行者に優しい構造の歩道づくりが必要である。国土交通省から歩道に関する通達により基準が示されており、基準を満たしていない箇所については順次整備を行っていききたい。

Q 本校区で発生した死亡事故に対する取組は
A 警察と死亡事故点検を行った。また、事故現場付近の住宅に啓発用チラシの配布や高齢者に交通安全教室を実施した。

（企画部長）

（総務部長）

Q 組織改革後の対応
Q 組織改革後の係制への検討は。
A 係制の導入については、令和3年12月に骨子案を作成し、令和4年4月をめどに導入を進めたい。

（教育長）

Q 地域を大切に思う心を育むために、地域の方と子どもたちが関わる活動の取り組みは。
A 本田小学校において、地域の方を講師として「ハリヨ」の学習を行った。このような地域に根づいた文化や大切なものを子どもたちに継承していくことによって、地域を愛する子どもが育つのではないかと期待している。

（教育長）

防止対策を講じながら、体育の授業や部活動などで子どもたちは体を思い切り動かして運動や活動を行っている。コロナ禍において、各行事がどうあるべきかを考え、子どもたちの心のケア、体のリフレッシュにつながるような行事を見直しを行っている。



人口増加傾向の当市の出生数、婚姻件数の近年の動向は

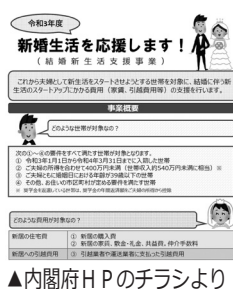


市民部長

当市の出生数、婚姻件数はどちらも減少傾向で、この傾向は継続する見込みと考える



今木啓一郎議員



▲内閣府HPのチラシより

Q コロナ禍における、子どもを産み育てる家庭への独自支援策は。
A 以前と変わらない各種教室の開催・相談などの支援や、乳児の全戸訪問事業など現在の制度を活用している。独自支援策は、携帯用の消毒液やマスクの配付などで、外出の不安を和らげていただくことに努めている。

（健康福祉部長）

Q 婚姻件数の増加に向け、経済的理由で結婚をためらう人を後押しする内閣府の「結婚新生活支援事業（引越費用等の補助）」についての考えは。
A 結婚新生活支援事業を積極的に研究し、導入を検討していきたい。なお、独自施策では、ウエディングフォト撮影支援事業による思い出作りをしていただけたらと思っている。

（企画部長）

（都市整備部長）

Q 道路計画のない一部狭窄する公道拡幅についての考えは。
A 4m未満の道路を解消していくために、建て替えや宅地開発される場合には先行取得を進め、道路用地の確保を行っていく。道路計画がない道路は、後退幅の提示がでず地元の協力なども不透明で路線として将来成り立つのかの判断が難しいため、計画の判断は今までどおり地元からの要望に対し検討していく。

（都市整備部長）

道路計画方針
Q 遅々として進まない背割り水路を活用した道路化（水路中心3m以内の部分の用地取得）の対策は。
A 今年度より開発新設道路の市への管理引継ぎ条件に、背割り水路の道路計画用地の協力を必須条件とし、計画に協力いただけるよう指導の強化を行っている。



東海環状自動車道アクセスルート岐阜・巣南・大野線(重里・森地区)整備は



調整監

森地内で市道の付け替え工事が進んでおり、完成箇所より市に引き継がれ、供用が開始される



若園五朗議員

新型コロナウイルス感染症
Q 64歳以下のワクチン接種の世代別スケジュールは。

A 6月末日から7月初旬にかけて50歳から64歳の方に、7月上旬から中旬にかけて30歳から49歳の方、16歳から29歳の方へと年代を3つに分け、接種券を送付する予定である。(健康福祉部長)

行政改革

Q 国や県においてもDX(デジタルトランスフォーメーション)が進んでいるが、瑞穂市はどのような取り組みをしているのか。

A 国の予定は、令和4年度中にマイナナンバーカードの機能をスマートフォンへ搭載することを目指すとし、スマートフォンのみでオンライン申請などの手続きを行うことが可能になる。行政手続きのオンライン化が進めば、マイナンバーカードを使って児童手当や保育所施設の利用申し込み、介護関係の手続きなど計31のオンライン申

請が可能になる。最新の動向を注視しながら、市のDXを推進していく。(総務部長)

安心安全なまちづくり

Q アダプト・プログラム事業を創設されたが、今後どのように事業を進めていくのか。

A (仮称)中山道大月多目的広場において、この事業を活用し、市民が自分たちの広場として愛着を持つて利用していただけよう考えている。

当分の間は、芝生広場など全体的な管理は委託を考えており、その補完的な管理として、植栽の剪定や外周の除草などをお願いできないかと考えている。(教育委員会事務局長)



▶岐阜・巣南・大野線の整備が進んでいる森地内



激甚化・広域化する自然災害への対応は



企画部長

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策について、様々な施策を考えている



森 健治議員

Q 昨年、国土強靱化地域計画を策定しているが、どのような方針か。

A 当計画については、起きてはならない最悪の事態を設定した上で、当時の状況に合わせた12の施策分野を定め、取り組む施策をまとめていくところである。具体的には、十九条・牛牧地内遊水池整備事業、排水規模を上げるための牛牧排水機場整備、避難経路確保のための舗装修繕をする道路維持の管理などを国土強靱化の中にリストアップさせ、計画の中に盛り込んでいく。

Q 避難指示を市民へ伝達する取り組みをどのように進めているか。

A 防災情報の伝達は従来の消防団員による各戸訪問はもとより、防災行政無線・市民メール・LINE・FMわたちの割り込み放送・防災ラジオがある。スマートフォン・携帯電話をお持ちの方が増加しているため、市民メール・LINEの

利用推進を考えている。市民メールのPRチラシを住民の方へポスティングし、登録者拡大に向けて取り組む段取りをしている。(企画部長)

Q 消防団活動もコロナ禍で影響があると考えられるが、新入団員への訓練・活動は。

A 訓練や参集回数的大幅な減少のため、従来は操法大会への訓練を重視していたが、より実践的な活動へと体制を変えてきた。今年度、新たな試みとして、瑞穂消防署の協力を得た上で、経験の浅い団員を対象に、より実践的な技術を習得する消防団教育訓練を計画した。(企画部長)





ウィズコロナ時代を前提に、テレワークに対応する新たな施設建設や施設開放の考えは



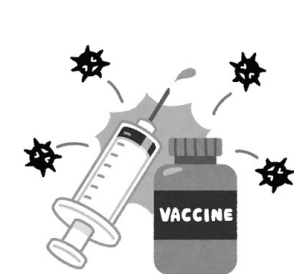
教育委員会事務局長

施設建設や公共施設の利用について、現在のところテレワークの対応は考えていない



北川静男議員

- Q** 地域活性化のため、地域プロジェクトマネージャー制度を活用し「地域おこし隊」を設立しては。
- A** 瑞穂市は条件不利地域に該当しないため制度の利用は難しいが、企業版ふるさと納税（人材派遣型）を活用できないか検討していきたい。
- Q** ワクチンパスポートの発行について市の見解は。
- A** 詳細な情報が入ってきていないため、今後の国の状況を見ながら準備をする。現在は接種券に接種日と接種場所を記入、接種ワクチンの種類のシールを貼付することで接種の記録としている。（健康福祉部長）
- Q** 高齢者ワクチン接種で「みずほバス」を無料にする考えはなかったか。
- A** 早い段階で検討を開始したが、バスの良い時刻がないこと、ドア・ツードアを優先的に考え、断念した。



- Q** 集団接種におけるキャンセルが発生した場合の対応は。
- A** まずキャンセル待ちの方に接種を行い、その後は医療従事者として接種業務に従事する希望する職員に接種をしている。（健康福祉部長）
- Q** 個別接種、オンライン申請の割合は。また高齢者の反応は。
- A** 最終的には集団接種が約35%、個別接種が約65%になると考えている。電話とオンラインの割合は持ち合わせていないが、5月中は1週間で1000件以上の電話があった。意見等についてはタクシー助成の個別接種への拡大などを要望書の形でいただいた。（健康福祉部長）



災害弱者の避難・個別計画の作成状況は



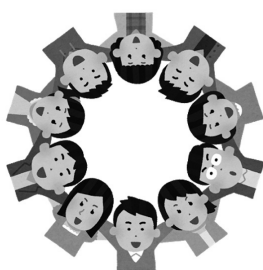
健康福祉部長

今後、避難行動要支援名簿登載者の個別避難計画策定について進めていきたい



若井千尋議員

- Q** 5月20日施行の改正災害対策基本法は、避難勧告が廃止となるなどの大きな変更があったが、市民への周知と理解度は。
- A** 警戒レベルごとの避難情報、レベル3が「高齢者等避難」に、レベル4が「避難指示」へと変わった。まずは、自治会長へチラシ配布を行った。その後は、7月広報紙にPRチラシの挟み込みを行い、各所で行われる防災訓練などで説明していきたい。（企画部長）
- Q** コロナ禍「女性の影響深刻化」地域のコミュニケーションの要、自治会の加入率は。
- A** 当市の自治会加入率は、68.6%で、県内市の平均は67.8%である。（企画部長）
- Q** 男女共同参画の現状・推進状況は。
- A** 平成23年4月1日に条例が施行されてから今までの男女共同参画の活動は、作品募集やふれあ



- Q** 地域・市民の声を聞く市長マニフェストのタウンミーティングの進捗状況は。
- A** 新型コロナウイルスの関係で開催できなくなっている。今後は、ワクチン接種の状況を見ながら、公共下水道事業や駅前整備の方針などを併せた出前講座を設けて、自治会から希望のある所に向いて説明をしていきたい。（市長）
- いフェスタでの啓発活動。また、広報紙へのコラムの掲載や市民アンケートの実施、学生と社会人とのワールドカフェなども行ってきた。今後は、講演会において、意識改革ができるようなパネルディスカッションや展示会などを予定している。（企画部長）



新庁舎建設において、市の考えや思いは



市長

新庁舎は、防災拠点であり、市民の心のよりどころになる



松野貴志議員

Q 市の中心部の高台とは、具体的にどここの場所を想定されているのか。

A 中心部に高台はない。ハザードマップにおいて、市全体のほとんどが千年に一度の水害により浸水する。高台は、盛り土をする形になる。

Q 市長は、12月議会において、庁舎を市の中心部、高台に移転することをご自身の政策だとご発言されたが。

A 「高台に移転」とは、一つの案の提示ということでご理解いただきたい。

Q 市長が総務省で説明を受けた起債事業は3月で終了しているが、この起債を受けていた場合、どの程度の交付税措置が見込めたか。

A この起債は、業務継続の確保のために行う洪水浸水想定区域等からの本庁舎の移転も起債の対象となっており、財源措置は、事業費の90%以内で地方債を発行でき、交付税措置として事業費の



75%を上限に、その元利償還金の30%を基準財政需要額に算入できる有利な起債事業であったと考える。今後同様の起債事業があれば、検討材料の一つとなり得るので、常に情報収集を行いたい。

Q 新庁舎建設に関する検討委員の体制はどのように考えているか。

A 建設位置の候補地の選定や基本計画を策定する検討委員会の委員には、有識者、市民団体などの代表者、市民公募による方にも参加いただき、審議をお願いしたい。さらに、市民説明会も行い、多くの市民の声が反映された形で、建設位置の候補地などを考える。

(総務部長)



財政調整基金（使途自由な貯金）の現在の積立残高は



総務部長

令和2年度末の財政調整基金残高は23億7,999万1,303円である



杉原克巳議員

Q 財政調整基金の積み立てについての考えは。

A 第2次総合計画において、標準財政規模に占める財政調整基金残高割合を20%以上とする目標を定めている。今後も、目標指標を下回らないよう、計画的な財政運営に努めていく。

Q 大型事業等の原資に充てる基金補填の考え方は。

A 大規模事業に対しては特定目的基金を設け、積み立てをしていく。計画的な財源確保を図り、慎重な財政運営を目指したい。

(単位：千円)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	H31
財政調整基金	2,204,274	2,391,360	2,592,756	2,593,686	2,283,492	2,699,340

▲年度別基金残高の状況（市HPより）

Q 臨時財政対策債は赤字公債（借金）と捉えているが、行政の解釈は。

A 臨時財政対策債は地

方財源の不足に対応するためにある。起債の発行の有無にかかわらず、交付税に算定されることを鑑みれば、臨時財政対策債の発行額を抑える努力が望ましく、歳出抑制による財源負担の軽減や繰り上げ償還が必要になってくる。

Q 企業誘致の取り組み状況は。

A 県の企業誘致課を通じて用地や物件等の問い合わせも多く、用地情報の提供や現地説明など県と連携を図りながら調整を行っていく。また、工場等設置奨励金制度の問い合わせも複数ある中で、これらの施策を組み合わせ今後企業誘致に取り組んでいきたい。

Q 企業誘致推進室の設置の考えは。

A 企業誘致は重要な事業だと認識しているが、設置については市の現状を踏まえ、十分な研究、協議を重ねた上で検討していきたい。

(総務部長)



瑞穂市におけるSDGsの取り組み状況は



企画部長

令和2年1月には、取り組みへの第一歩となったSDGsのセミナーを市主催で開催



藤橋直樹議員

DX(デジタルトランスフォーメーション)
Q デジタル化の進捗状況は。

- ▶SDGs基本視点(瑞穂市)
1. 育(未来)
 2. 住(暮らし)
 3. 安(守り)
 4. 活(輝く)
- SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

Q SDGsの成果は。
A 昨年、SDGsの概念を取り入れて、第2次総合計画の後期基本計画、第2次男女共同参画基本計画、地域福祉計画等を策定できた意義は大きいと感じている。
(企画部長)

Q SDGsの職員の意識の向上に向けて行っていることは。
A SDGsの職員研修において、全体の奉仕者である公務員として、各種事業を推進していくとともに、「誰一人取り残さない」というSDGsに対する認識が深まったとみている。
(企画部長)

Q SDGsの成果は。
A 昨年、SDGsの概念を取り入れて、第2次総合計画の後期基本計画、第2次男女共同参画基本計画、地域福祉計画等を策定できた意義は大きいと感じている。
(総務部長)

Q デジタル化でどのような市民サービスの向上、経費削減につながるか。
A 行政手続のオンライン化が進み、マイナンバーカードを用いて計31のオンライン申請が可能となってくる。また、AIチャットボットでは、問い合わせに24時間365日自動で応答することができ、市民サービスにつながっている。人件費の面から考えると、経費削減にもつながると考える。
(総務部長)

Q マイナンバーカードの普及率と啓発は。
A 交付率は5月末で33.3%となっており、県内21市中上から2番目である。市ホームページや広報みずほにて啓発を行っている。
(市民部長)

Q 児童手当及び保育所入所手続きが可能となったほか、市ホームページでのAIチャットボット(検索支援機能)を導入した。
(総務部長)



公立小学校35人学級制の当市の現状は



教育長

本年度、4年生の編成基準が変わったことにより、西小と生津小で学級数が増えた



松野藤四郎議員

保育所整備
Q 老朽化している牛牧第1保育所の整備計画は。
A 最短のスケジュールは、今回、土地の測量等を行い、来年度には造成



Q 令和7年度までに、公立小学校が35人学級制となり、市内3校でクラス増が生じる。特に牛牧小では、教室の不足が考えられるが、今後の計画は。
A 当初牛牧小では、教室の数に余裕があったので、1階部分を放課後児童クラブとして活用してきた。牛牧小の教室が必要になる可能性が高くなった今、放課後児童クラブを現在の牛牧第1保育所に移動し、牛牧第1保育所は、新たに公私連携型保育所を考えている。
(教育長)

Q 令和7年度までに、公立小学校が35人学級制となり、市内3校でクラス増が生じる。特に牛牧小では、教室の不足が考えられるが、今後の計画は。
A 当初牛牧小では、教室の数に余裕があったので、1階部分を放課後児童クラブとして活用してきた。牛牧小の教室が必要になる可能性が高くなった今、放課後児童クラブを現在の牛牧第1保育所に移動し、牛牧第1保育所は、新たに公私連携型保育所を考えている。
(教育長)

JR穂積駅周辺まちづくり
Q 穂積郵便局北側道路西交差点(変則5差路)の信号の間隔が短い。早急に改善を求めたい。
A 市としても喫緊の課題とし、早急に整備計画を作っていくと考えている。まずは、警察、県、関係者などという形でできるのか協議を行い、その後、地元の方への説明をしていきたいと考えている。
(調整監)

Q 生津小学校区の保育所新設の今後の計画は。
A 早急に生津小学校区の保育所も検討していく。生津小学校区に保育所があれば、本田第1保育所については、運営を継続するのか、廃園にするかなど検討をしていきたい。
(教育委員会事務局)

Q 生津小学校区の保育所新設の今後の計画は。
A 早急に生津小学校区の保育所も検討していく。生津小学校区に保育所があれば、本田第1保育所については、運営を継続するのか、廃園にするかなど検討をしていきたい。
(教育委員会事務局)



下水道事業の報告書^{※1}を考慮し、全体計画^{※2}の見直しと市民への説明を



環境水道部長

事業全体に変更はないが、市民の方には今後 も説明を行わなければならないと考える



関谷守彦議員

Q 処理場用地取得前の説明会は進んでいるか。

A 今後、まずは第1期事業計画区域での説明会を開催し、全体計画の説明や受益者負担金、排水設備工事費用などの説明を行っていく予定である。（環境水道部長）

Q 全体計画では、令和6年度下水道使用料収入は約7億円（税込）だが、報告書では。

A 報告書の標準シナリオでは約5億1千万円（税込）となっている。（環境水道部長）

Q 全体計画では令和5年度以降、一般会計からの繰り入れはゼロだが、報告書では。

A 収益的収入の一般会計繰入金は令和6年までの平均値が1億7700万円、資本的収入では1億7100万円であり、令和5年度以降も繰入金は発生するとしている。（環境水道部長）

Q 全体計画で第1期事業の見込額は72億円だが、報告書では。

A 第1期事業計画のD



▲（仮）アクアパークみずほ

※1	下水道事業におけるP/P/FI導入検討調査報告書（令和3年3月）
※2	現在市が示している下水道事業計画
※3	民間事業者に設計、建設等を一括・性能発注する方法

B一括発注方式^{※3}の設計施工費は約85億円となっている。事業計画が増えている理由としては、処理場の基本設計において、OD槽という水槽を2池同時に建設したほうがトータルコストが低減されることから、1池多く建設費に含めた。また、地質調査において地質が軟弱ということが分かり、基礎杭の工事等が算出した額よりも大きくなった。（環境水道部長）



コロナ禍における健康づくりの計画と現状は



健康福祉部長

感染防止対策を講じた上で、できうる限り、教室、相談業務等を開催する方向で計画している



広瀬守克議員

Q デジタル化によりデータを活用分析し、従来の取り組みから進化させるような健康づくり事業は。

A 個人のデータが年齢とともに蓄積され、健康づくりや暮らしの向上につながるように、正しく活かすことは、これからの行政のあるべき姿の一つであると考えている。現在、市では「健康かるて」と銘打って、特に子どもの発育・発達に活かせるようにシステム化している。また、がん検診等の履歴より、特に精密検査の必要な方には追跡啓発を行うなどのデータの活用を行っている。個人情報報の取扱いに十分注意し、データの活用を検討していく。（健康福祉部長）



（健康福祉部長）

Q 企業が社会貢献する機運が高まっているが、民間と提携や協定を結ぶことについての見解は。

A 現在、がん検診の啓発についての協定や、認知症の方を地域で支えるための連携協定を結んでいる。今後も市と共に健康づくりに取り組んでいただける民間との連携を進めていきたいと考えている。（健康福祉部長）

まちづくり基本条例推進事業

Q 市民参画による協働のまちづくり事業の取り組み状況は。

A 現在はコロナ禍で開催できていないが、令和元年度には、タウンミーティングを開催した。校区の連合会が主となり、地域の課題の洗い出し、地域の方、議員、市職員が一緒になって課題解決に向けて話し合ったことは、協働のまちづくりの一つの形であると考えている。（企画部長）



学校でのマスク着用による熱中症を防ぐ対策は



教育長

マスクを外してよい場面を個々で判断する力を身に付けられるような取り組みをする



馬淵ひろし議員

Q マスク着用による熱中症リスクに対する対応は。

A 深呼吸タイムという時間を設定し、息苦しくなったらマスクを外して呼吸するというのを身に付けさせる取り組みを考え、子どもたちに判断力を付けさせるような指導を徹底していきたい。

(教育長)



熱中症に注意！
子どものマスク

発症重症化しないコロナ予防策

Q 自己免疫を高めることも重要である。無農薬、無添加、ミネラル豊富な地産地消の給食の提供の検討は。

A 地産地消の取り組みで使用する地元食材は、できるだけ農薬を使用しないものを積極的に使用しているが、約7000食分を安定的に確保することに大変苦慮している。しかし、食に対する正しい知識や望ましい食

習慣を身に付けてもらえるような食育をより推進し、併せて関係機関とも協議しながら検討していきたい。

(教育委員会事務局長)

コロナワクチン接種証明の利用

Q 「接種は国民の意思に委ねられる」コロナワクチンの接種証明書の利用をどう考えているか。

A 国でワクチンパスポートの発行を検討されているが、たとえ証明書を発行することになっても、当市としては、接種した方と接種していない方を区別するような形で行政サービスを行うことは考えていない。

(健康福祉部長)

中期財政計画の公表

Q 市民や議員に中期財政計画を公表する考えは。

A シミュレーションであること、国の税制改正や地方財政計画、経済情勢などで大きく変わってくることを理解いただいたうえで、年度末までに公表を検討していきたい。

(総務部長)

議会活動日誌

5月

- 7日 総務委員会・協議会
- 18日 研修・予算決算検討部会
- 20日 中濃十市議会議長会議（書面会議）
- 21日 意見交換・情報発信検討部会
- 24日 文教厚生委員会協議会
- 26日 全国市議会議長会定期総会（書面会議）
- 27日 議会運営委員会
全員協議会

6月

- 2日 令和3年第2回瑞穂市議会定例会（初日）
会派別議案説明会
- 3日 会派別議案説明会
- 9日 議会運営委員会
- 11日 令和3年第2回瑞穂市議会定例会（総括質疑）
議会基本条例推進特別委員会
- 14日 産業建設委員会・協議会
- 15日 文教厚生委員会・協議会
- 16日 総務委員会・協議会
- 21日 令和3年第2回瑞穂市議会定例会（一般質問）
- 22日 令和3年第2回瑞穂市議会定例会（一般質問）

- 23日 令和3年第2回瑞穂市議会定例会（一般質問）
議会運営委員会
- 25日 令和3年第2回瑞穂市議会定例会（最終日）
全員協議会
議会広報編集委員会
- 29日 議会運営委員会

7月

- 9日 岐阜県市議会議長会議
- 12日 NOMA行政管理講座（オンライン研修）
- 13日 NOMA行政管理講座（オンライン研修）
- 19日 議会広報編集委員会
- 21日 意見交換・情報発信検討部会
- 28～29日 市町村議会議員研修
- 28日 もとす広域連合議会（総務介護常任委員会協議会）
- 29日 もとす広域連合議会（老人福祉常任委員会協議会）
- 30日 もとす広域連合議会（療育医療常任委員会協議会）



タブレット端末1人1台 GIGAスクール構想 “未来の文房具” いよいよ子どもたちの手に!!



令和2年10月臨時会において、承認されたタブレット端末。
いよいよ、市内小中学生の子どもたちの手に渡り始めました。

5月28日、本田小学校にて、『タブレット貸与式』が行われ、
教育長から、代表児童へタブレットが手渡されました。



タブレットが貸与されてとても
嬉しいです。タブレットには、い
ろいろな機能があると聞いていま
す。どんな学習に使えるのかとて
も楽しみです。僕は、総合的な学
習の時間に、福祉について調べて
いきたいと思っています。

▶ 本田小学校
『タブレット貸与式』



▶ タブレット保管庫
保管中に充電ができます

6月18日には、本田小学校の先生方が、タブレットの勉強会をされまし
た。タブレットを文房具の一つとして、どのように学びに生かしていくの
か、先生方は、子どもたちが帰ったあと、一生懸命勉強されています。

何のために使うのか？
どのように活用する？
子どもたちの想像力や意見を引き
出す文房具として使ってほしい！
できることをできることから！

本田小学校
『教員タブレット研修』▶



表紙について

タブレットが手渡された初日の子ども
たちを、本田小学校にて撮影させていた
だきました。子どもたちのキラキラした
目、ワクワクした様子がとても印象的で
した。

令和3年第3回定例会日程（予定）

8・9月

日	月	火	水	木	金	土
	8/30	8/31	9/1	2	3	4
	本会議（初日・ 議案提案説明）					
5	6	7	8	9	10	11
		本会議（総括質疑・ 委員会付託）		産業建設 委員会	文教厚生 委員会	
12	13	14	15	16	17	18
	総務 委員会	委員会 予備日	本会議 （一般質問）	本会議 （一般質問）	本会議 （一般質問予備日）	
19	20	21	22	23	24	25
			本会議（最終日・ 委員長報告・ 質疑・討論・採決）			
26	27	28	29	30		

※日程は、変更になる場合があります。HPをご覧ください。

編集後記

市民の皆さん！広報編集委員も新メンバーが担当します。宜
しくお願い致します。

本年度は「伝える議会だより」ではなく「伝わる議会だより」
を目指し、議会をもっと知って頂くために皆さんに読まれ、親
しまれる「議会だより」を作成したいと思います。

市民皆さんのご意見・感
想をお待ちしております。

宜しくお願い申し上げます。

議会広報編集委員会
委員長 森 清一
副委員長 若原達夫
委員 北川静男
委員 広瀬守克



委員長 森 清一 副委員長 若原達夫 委員 北川静男 委員 広瀬守克